

【議会報告会 報告書】（池の台地区） 担当：1班

- ・開催日時：平成30年11月25日（日） 午前10時～午前11時30分
- ・場所：老人憩の家 ・参加者数：5人（男5人・女0人）
- ・担当議員名： 渡辺豊子（班代表・記録）、浦川佳浩（司会進行）、服部脩二（挨拶）
坂上巳生男（報告） 河合弘樹（記録補助）、

～質疑応答・意見交換における主な発言～

（質問）決算について、H28年度の経常収支比率は99.9%で、第3次行財政構造改革アクションプログラムを策定した。H29年度は改善された。単年度で、財政を見るのではなく、中長期的に見るべきではないか？決算委員会の質疑の中で、財政当局が「財政の見通しについて今後どうなるかわからない。」と答弁していることを議員としてどう思っているのか？一人ひとり答えてほしい。

（回答）・基金を取り崩して均衡をとっている。安定した財政運営を要望しているが、国の交付税等については算出時期がずれているので、変動が生じている。

・中長期的には、災害などもあり、判断が難しい。歳入については、国の交付金を獲得できるように要望している。

・地方財政においては収入の見通しはつきにくい。歳入は主に税収に頼っているが、変動の見通しがつきにくい。地方交付税についても前年度の税収を見て決定され、9月に確定されるが、算定時のずれも生じる。実際、基金を取り崩して、財政の均衡をとっているので、財政状況は決して良いとは言えない。

・財政当局がわからないというのは正直な答弁と考える。町税については、景気の影響、人口減少など、歳入増の見通しについて、わからない状況と考える。よって、歳入増の取り組みに努力することを求めている。

・収支は安定すべき。身の丈に合った行財政運営をしていきたいと考える。

（質問）災害時の指定避難所について、池の台地区は西小学校になっている。坂もあり、道も狭くて、歩いてでも車でも避難できるかどうか疑問。近くに大阪観光大学があり、「大学側も容認してくれているので避難所として指定してほしい。」と、自治会で要望したが、危機管理課が「避難所として認められない。」とのことだった。実態に応じた柔軟な対応を望むが、仮避難所として指定できないか？

（回答）・熊取町には3つの大学がある。「町から各大学に一時避難所として、受け入れてくれるようお願いしてはどうか。」と要望している。

・防災計画の策定において、指定避難所を校区ごとに設けている。今後は、大学や介護施設等、協力避難所という形で避難を受け入れてくれる施設を増やしていくように要望していきたい。

(質問) 放置バイクについて町に連絡したら、放置されている場所が泉佐野市なので、対応してくれなかった。池の草刈りについても泉佐野市の管理になっているからと対応してくれなかった。町と市域の壁があり、住民としては対応に困る。どうしたらいいのか？

(回答) 町から泉佐野市に言ってもらえることができる。今後、事務的に処理をすることのないように、職員に言うておく。

(要望) 質池の耐震診断について、町の担当課に聞いたら、質池は泉佐野市の管理になっている。泉佐野市と大阪府が実施する事業だが、まだ実施していないと言われた。早く耐震を実施してくれるように、泉佐野市に要望してほしい。